

大分市ホームページ

Oita City Website / 大分市官网 / 오이타시 홈페이지

- 大分市ホームページでは 災害(台風や 地震)の 避難(逃げること)の 情報をお知らせ しています。
- Access the Oita City website for emergency announcements and evacuation information.
- 大分市政府の官网上、发布了灾害发生时避难所相关的信息。
- 오이타시 홈페이지에서는 재해시 피난에 관한 정보를 제공하고 있습니다.

大分市の ホームページは 市内に住んでいる 外国人や 市内を訪ねる 外国人が 大分市について 調べられるように 日本語で書かれた内容を 自動的に 翻訳して くれます。

The website can be viewed in various languages.

为方便市内居住及以访日为目的的外国人获取市内的最新信息，大分市将信息通过英、中、韩三国语言自动翻译后发布在大分市官网上。

오이타시 홈페이지에서는 시내에 거주하시는 외국인은 물론 일본을 방문하시는 외국인도 오이타시에 관한 정보를 쉽게 취득할 수 있도록 영어, 중국어, 한국어로 자동번역을 실시합니다.



外国人生活支援ポータルサイト

A DAILY LIFE SUPPORT PORTAL FOR FOREIGN NATIONALS / 外国人生活支援门户网站 / 외국인 생활 지원 포털 사이트



外国人が 日本で 安心して 生活するために 必要なことや 大事なことを みなさんに お知らせする ウェブサイトです。

いろいろな 言葉で 書いた 国からの お知らせなどを 見る ことができます。

This web portal provides useful information for foreign nationals living in Japan and their supporters. On this website, you can also view the Guidebook on Living and Working that provides information on what you need to safely live and work in Japan.

这是为外国人提供在日本安心生活所需要了解的必要事项和重要事项的网站。

可以用多种语言浏览政府的最新通知。

외국인이 일본에서 안심하고 생활하는 데 필요하고 중요한 정보를 제공하는 웹 사이트입니다.

정부의 안내 등을 다국어로 확인할 수 있습니다.

大分市国際課公式SNS

Oita City International Affairs Division Official SNS Accounts / 大分市国际课官方SNS / 오이타시 국제과 공식 SNS



国際課では 国際交流の 催しの 情報や 生活情報を FacebookやInstagramで お知らせします。

地震や 台風などの ときは 避難(逃げること) 情報などを お知らせします。

The International Affairs Division provides information for foreign residents living in Oita City. In emergencies, they issue evacuation instruction and other disaster-related information on Facebook and Instagram.

国际课除了向在日居住外国人提供活动信息、大分县内的生活信息之外，还在发生灾害时发送避难指示等灾害信息。

국제과에서는 이벤트 정보, 오이타현 내의 생활정보 등을 거주하시는 외국인 분들에게 제공해 드리고

있으며, 재해 시에는 피난지시등의 재해정보를 발신합니다.

●お問い合わせ ●Inquiries ●咨询处 ●문의

大分市 企画部 国際課
Oita City International Affairs Division
大分市 企画部 国际课
오이타시 기획부 국제과

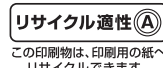
TEL 097-537-5719 FAX 097-536-4044

E-mail kokusai@city.oita.oita.jp

この 防災ガイドブックを 大分市ホームページで 見る ことができます。
This Disaster Preparedness Guidebook can be viewed on the City of Oita website.
此防灾手册可在大分市政府官网上查看。
이 방재 가이드 북은 오이타시 홈페이지에서 볼 수 있습니다.



2023年2月発行



多言語

防災ガイドブック

保存版
Special issue
保存版
보존판
2023年作成

Multilingual Disaster Preparedness Guidebook

多语言防灾指南

다국어 방재 가이드북



もくじ / Table of Contents / 目录 / 목차

地震 / 津波.....	1	Earthquake/Tsunami.....	7
地震の 時に すること.....	2	What to Do in an Earthquake.....	8
地震に 備えましょう / 津波の 時に すること.....	3	Prepare for Earthquakes/What to Do in a Tsunami.....	9
台風・大雨 / 台風や 大雨の 時に すること.....	4	Typhoon and Heavy Rain.....	10
非常持出品・備蓄品.....	5	What to Do During Typhoon or Heavy Rain.....	10
緊急時の 連絡先 / 災害用伝言サービスの 使い方 / 多言語での 情報収集に 便利な サイト / 緊急連絡カード.....	6	Emergency and Stockpile Supplies.....	11
大分市指定緊急避難場所兼指定避難所一覧.....	25	Emergency Hotlines and Message Services.....	12
大分市ホームページ / 外国人生活支援ポータルサイト / 大分市国際課公式SNS.....	裏表紙	Multilingual Resources/Emergency Contact Card.....	12
地震は 何? / 海啸は 何?.....	13	Emergency Evacuation Sites & Evacuation Shelters.....	25
発生地震時、应该怎么 办?.....	14	Useful Websites.....	Back Cover Page
请为地震做好准备 / 发生海啸时、应该怎么 办?.....	15	지진이란 / 쓰나미란.....	19
台风・暴雨 / 遭遇台风及暴雨时、应该怎么 办?.....	16	지진이 발생하면 어떻게 하지?.....	20
紧急携带品・储备品.....	17	지진에 대비합니다 / 쓰나미가 발생하면 어떻게 하지?.....	21
紧急情况联络处 / 灾害用留言服务的使用方法 / 能够用多种语言收集信息的网址 / 紧急联络卡.....	18	태풍・호우 / 태풍이나 호우가 발생하면 어떻게 하지?.....	22
大分市指定緊急避難所和指定避難所一覧.....	25	비상반출품・비축품.....	23
大分市官网 / 外籍人士生活支持门户网站 / 大分市国际课官方SNS.....	裏表紙	긴급 연락처 / 재해용 전연 서비스 사용법	24
大分市災害時多言語通訳サービス(台風や 地震のときに つかえる 通訳サービス)のご案内		다국어 정보 수집에 편리한 사이트 / 긴급 연락 카드.....	24
詳しくは 6ページを 見て ください。		오이타시 지정 긴급 대피 장소 겸 지정 대피소 일람.....	25
Oita City's multilingual interpretation service for emergencies		오이타시 홈페이지 / 외국인 생활 지원 포털 사이트 / 오이타시 국제과 공식 SNS.....	뒷표지
See page 12 for details.			
大分市災害時多言語通訳サービス 详情请阅读第18页。			
Oita City Multilingual Disaster Distress Call Center / 大分市災害時多言語呼叫中心 / 오이타시 재해 시 다국어 콜센터			
大分市災害時多言語通訳サービス 详情请阅读第18页。			
오이타시 재해 시 다국어 통역 서비스 안내 자세한 내용은 24쪽을 참조해 주십시오。			
			0120-691-476

大分市災害時多言語 コールセンター

Oita City Multilingual Disaster Distress Call Center / 大分市災害時多言語呼叫中心 / 오이타시 재해 시 다국어 콜센터

大分市災害時多言語通訳サービス(台風や 地震のときに つかえる 通訳サービス)のご案内
詳しくは 6ページを 見て ください。
Oita City's multilingual interpretation service for emergencies
See page 12 for details.
大分市災害時多言語通訳サービス 详情请阅读第18页。
오이타시 재해 시 다국어 통역 서비스 안내 자세한 내용은 24쪽을 참조해 주십시오。



やさしい日本語

英語 English

中国語 中文

韓国語 한국어

Evacuation Sites and Shelters 避難所一覧

日本は火山が多く地震が起きる回数がとても多い国です。
また津波 台風 大雨 多い雪など災害が起きやすいです。

そのため普段から危険なときの行動を知ることが必要です。
また災害の時は正しい情報を集めることも必要です。

地震

地震とは地面が揺れることです。
震度は地震の強さを表します。
全部で10段階です。数字が大きい方が大きい揺れです。

また大きい地震(本震)のあと何度も揺れます。

これを「余震」といいます。
本震の揺れよりも大きく揺れたり何度も揺れることがあるので注意しましょう。



津波

津波は地震の時に発生する危険な波です。

大きい地震の時速くて大きな波がたくさん来て建物などがとてもひどい被害を受けます。

日本は周囲に海があるので津波が来やすいです。

2011年3月11日に起きた東日本大震災の時は約18,500人の人が死んだりどこにいてもわからなくなりました。



地震の時にすること

大きい地震が起きた時に「あわてないで落ち着いて」動いてください。

「地震が起きた時」にすること

地震発生! まず体の安全を守る

- 緊急地震速報(大きな地震が起きたときに強い揺れが来る場所のお知らせ)や大きい揺れがあった時はまず体の安全を一番に行動してください。
- 安全なテーブルの下や物が落ちてこない、倒れてこない、動いてこない場所に揺れが無くなるまで動かないでください。
- 【高層階(約10階以上の場所)の時に注意すること】**
- 高層階(約10階以上の場所)は揺れが数十分間続くことがあります。
- 大きいゆっくりな揺れの時は家具等が倒れたり落ちたりすることがあります。



「地震が起きたすぐ後」にすること

火の確認 早く火を消す

- 揺れが小さくなった時にあわてないで火を消してください。
- 火事のときは火を消す。ただし無理をしないで消防局に電話(119)をしてください。



あわてないで動く

- 家の中では倒れたり落ちたりした家具や割れたガラスなどに注意して靴をはいたりしてください。
- 家の外では上から窓ガラスや看板などが落ちる場合があります。危険なので急に外に出ないでください。



出口を作る

- 揺れが小さくなった時にドアや窓を開けて避難(逃げる)ことができるように出口を作ってください。



危険な場所の近くに行かない

- 家の外で大きな揺れがあった場合壊れる危険がある塀、電柱、看板、自動販売機、橋の近くにいかないでください。



「揺れが無くなった後」にすること

状況に合った避難(逃げる)こと

- 家が倒れる可能性がある場合や近くで大きな火事が起きた時は避難所(逃げる)などに逃げてください。
- 津波や土砂災害(斜めの土地にある土や砂が急に崩れて落ちて人や建物に被害を与えること)の危険がある場合はより安全な場所へ逃げてください。



正しい情報を集める

- ラジオやテレビ、市役所、消防局、警察などから発表される正しい情報を集めてください。
- 災害(地震、津波、洪水など)の時に増える正しい情報などを信じないでください。



避難する(逃げる)前の安全確認

- 火事を防ぐために逃げる時はできるだけ電気のブレーカーを落としてガスの元栓を閉めてから逃げてください。



地震に 備えましょう

自分の家を 安全な場所に しましょう

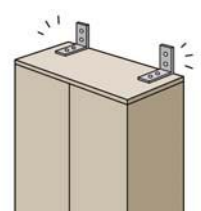
家具を 安全に 置く

- できるだけ 人の 出入りが 少ない部屋に たんすや棚を まとめてください。
- 人が 寝る 部屋に たんすや棚を置くときは 体の 上に 倒れないように 置いてください。



家具が 倒れたり 落ちたり することを 防ぐ

- たんすや棚と 壁や 柱の 間に 隙間を つくらないでください。
- たんすや棚が 倒れないように 留め用具(たんすや棚が 動かないようにするための 道具)を 使ってください。



廊下や ドアの 近くに ものを おかない

- 危険なときのために 逃げる 道をつくって ください。
- 通路や 出入り口に 物を 置かないで ください。



窓ガラスに 飛散防止フィルム (割れても ガラスが 細かく 散らないようにするための シート) を はる

- 窓だけではなく 食器が 入っている棚や 絵や 写真を 入れている額 の ガラスにも はって ください。



津波の 時に すること

大きな 津波から 命を守る ためには 津波が 届かない 高い 場所へ 逃げるしか ありません。自分の 命は 自分で 守る という ことを 強く 意識して ください。津波の 危険が ある 場所にいる 時は 「大きな 揺れを感じたら すぐに 逃げる」 ことを 覚えて おいて ください。

津波から 命を守る ためにすること

このような 場合には まず このように 動いてください

その後は...

• 強い 地震や 長い 時間の 揺れを感じた

避難する (逃げる)

すぐに 避難する!

- 海の 近くや 川の 近くにいる人は すぐに 海や川から 離れて 高いところなど 安全な場所へ 逃げて ください。
- 高い 場所へ 向かって 逃げて ください。



• 大きい 津波・津波警報が 発表 (揺れを感じない 場合でも)

避難する (逃げる)

海の 近くや 川の 近くから 離れる!

- 海の中にいる人は すぐに 海から 出て 海の 近くから 離れて ください。
- 海の 近くや 川の 近くにいる人は いつでも 逃げる ことが できるように 準備して ください。



• 津波注意報(津波に 関係する 注意の 情報)が 発表(揺れを感じない 場合でも)

避難に 備える (逃げる準備)

- ラジオや テレビ などから 正しい 情報を 集めます。
- 津波は 繰り返して 来るので、警報や 注意報が 無くなる までは 絶対に 海の 近くや 川の 近くに行かないで ください。



津波避難に 関するマークを 覚えておこう!



津波避難場所

津波から逃げる ところです。 周りより高い山や丘です。



津波避難ビル

津波から逃げる ところです。 周りより高い建物です。

台風・大雨

台風は 7月から 10月頃に 起きます。強い雨や 強い風が 起きます。土砂崩れ(斜めの 土地にある 土や 砂が 急に 崩れて 落ちること)や 洪水(大雨などで 川の 水が増えて 陸に 水が 流れること)が 起きる ことも あります。

また 風で 物が とんで 来て けがを することも あります。海 の 近くは 高潮(高い 波)にも 注意が 必要です。海には 近づかないで ください。台風が 起きて なくても 急な 大雨に 気をつけて ください。



台風や 大雨の 時に すること

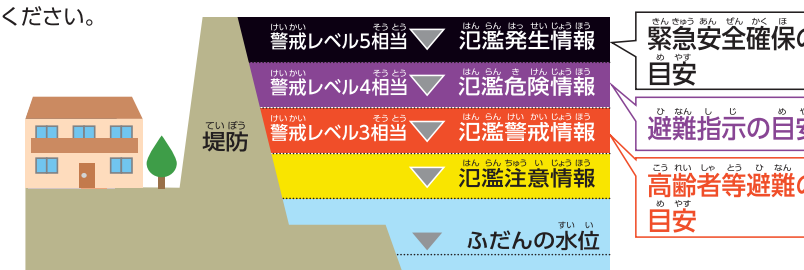
日本は 全国で 大雨が 起きます。また 日本は 全ての 人口の 約50%が 洪水が 多い地域に 住んで います。風水害(強い 風と 強い 雨による 災害)から 家族と 大切な物を守る ため 日常から しっかりと 何を するか 考えて ください。

洪水の 情報 川の 水位(水の 高さ)と 氾濫(水が あふれる こと)の 情報

「避難指示」が 出た 時は すぐに 逃げて ください。川の 水が 増えます。とても 危ないです。

- 逃げる ときに たくさん 時間が 必要な人
 - ①年が 上の 人
 - ②障がいがある 人
 - ③子ども
- 上に 書いた 人たちを 助ける人

→ 「高齢者等避難」が 出たら 逃げて ください。



避難に ついての 情報

台風や 大雨により 危険がある 場合には 避難(逃げる こと)についての 情報が 出ます。危険レベルによって 情報が 違います。情報が出て 危ない と思ったときは 逃げて ください。避難(逃げる こと)の 情報は 大分市ホームページを 確認して ください。

緊急度 ↑ 高い ↓ 低い	警戒レベル 5 緊急安全確保	• 命の危険があるため すぐに自宅の上の階 近くの高い建物など 少しでも 高い場所へ 移動して 緊急に安全を 確保するように します。
	~~~~~(警戒レベル4までに必ず逃げる!)~~~~~	
	警戒レベル 4 避難指示	• 危険な場所から 安全な場所へ 全員逃げて ください。
	警戒レベル 3 高齢者等避難	• 逃げる ことに 時間が必要な人と 支援をする人は 危険な場所から 逃げて ください。
		• それ以外の人も 必要に応じて 逃げる準備を したり 自主的に 逃げて ください。



### 命を守る 避難行動を!

外に 出たら 命に 危険が ある場合は 家の 2階や 崖(急な 斜めの 土地)から 離れている 部屋に行っ て ください!

## このような ことが あったら 避難して(逃げて) ください!

- 空が 黒くなって かみなりを 見たら 建物の 中へ 逃げて ください。
- 冷たい 風が 吹き始めた 時は 注意して ください。
- 川の 水の 高さが 高くなったり 透明で なくなったら すぐに 逃げて ください。
- とても 強い 雨や ひょう(氷の 雨)が 降り始めたら 建物の 中へ 逃げて ください。





非常持出品〈災害が起きたときに家から持って出るもの〉・  
備蓄品〈災害が起きたときに備えるため家に置いておくもの〉

準備したものに  を しましょう。

 <input type="checkbox"/> 水(1人3リットル)	 <input type="checkbox"/> 食べるもの (乾パン、缶詰、 チョコレートなど)	 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ (持ち運べるラジオ)	 <input type="checkbox"/> 下着、くつ下	 <input type="checkbox"/> タオル
 <input type="checkbox"/> 赤ちゃんがいる人 <input type="checkbox"/> 粉ミルク <input type="checkbox"/> おむつ <input type="checkbox"/> ほ乳ビン	 <input type="checkbox"/> ライター(マッチ)	 <input type="checkbox"/> 歯ブラシ	 <input type="checkbox"/> 手袋	
 <input type="checkbox"/> 生理用品	 <input type="checkbox"/> お金 (硬貨は公衆電話に 使えます)	 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 (手に持つライト)	 <input type="checkbox"/> 雨具 (レインコート、傘など)	 <input type="checkbox"/> パスポート
 <input type="checkbox"/> 携帯電話と モバイルバッテリー	 <input type="checkbox"/> マスク	 <input type="checkbox"/> 通帳、はんこ	 <input type="checkbox"/> 在留カード	 <input type="checkbox"/> 保険証
 <input type="checkbox"/> 救急セット (けがをしたときや熱を 下げるときに使う薬)	 <input type="checkbox"/> 常備薬 (いつも飲んでいるお薬)	 <input type="checkbox"/> ビニール袋(ポリ袋)	 <input type="checkbox"/> 家族や友達など 連絡先のメモ (ノート、ペン)	<input type="checkbox"/> その他 (他に自分が必要な ものを書きましょう)

避難所〈逃げるところ〉

避難所は「災害(地震 津波 洪水など)で家に被害があった人や自分の家に住むことができなくなった人被害を受けるかもしれない人を受け入れる場所」のことで外国人も日本人も使うことができます。自分の避難所〈逃げるところ〉の場所を25ページから30ページで確認してください。避難所はお金はいりません。



緊急時の 連絡先

警察は **110**番  
火事・救急  
(急に病気や  
けがになった人を  
助けるとき)は **119**番  
海で急に病気や  
けがになった人を  
助けるときは **118**番

○大分市災害時多言語通訳サービス〈台風や地震のときにつかえる通訳サービス〉のご案内

大分市災害時多言語コールセンター **0120-691-476** ※台風や地震がないときはつかえません。

使える時間: 大分市災害警戒本部(台風や地震の情報が集まる場所)または大分市災害対策本部(台風や地震の情報が集まる場所)ができてすぐ使えます。本部がなくなった後1カ月間は使えます。24時間いつでも使えます。

使える言葉: 21言語(英語 中国語(北京語) 韓国語 タイ語 ベトナム語 インドネシア語 マレー語 ネパール語 ポルトガル語 スペイン語 フランス語 ドイツ語 イタリア語 ロシア語 タガログ語 ミャンマー語 クメール語 モンゴル語 シンハラ語 ヒンディー語 ベンガル語(2022年4月1日時点))

使える人: 大分市に住んでいる人 大分市で働いている人 大分市にいる外国人。

お金: お金は いりません。  
気をつけること: 大分市災害警戒本部 大分市災害対策本部ができたか どうかは 大分市のホームページで お知らせします。

災害用伝言サービスの 使い方

地震や台風のときは電話がつながりにくくなります。家族や友人に自分は大丈夫ということや伝えたいことや家族や友人が大丈夫であるか知りたい時は災害用伝言サービスを使ってください。

・災害用伝言ダイヤル(171)

電話の 171 を 押す

メッセージを  
残すときは 1 を 押す

メッセージを  
聞かるときは 2 を 押す

メッセージを残すときは  
自分の電話番号を押す

メッセージを聞きたいときは  
相手の電話番号を押す

1 を 押して メッセージを  
30秒以内で話す

1 を 押して  
メッセージを聞く

・災害用伝言板(携帯電話・スマートフォン)

インターネットで「災害用伝言板」と検索する

メッセージを  
残したいとき

メッセージを  
見るとき

「登録」を押す

「確認」を押す

100字以内でメッセージを  
入れる

確認したい人の  
携帯電話番号を入力して検索

多言語での 情報を集めるのに 便利な サイト

気象庁(サイト)

気象庁(天気についてお知らせする国の機関)が防災気象情報(地震や台風から身を守るためのお知らせ)を多言語でお知らせします。



Safety tips

観光庁が作った日本の中で起こる台風や地震などのお知らせや災害時に必要な情報を多言語で知ることができるアプリです。



Android

iOS

財布に入る大きさの緊急連絡カード(急な事故や台風地震のときに役に立つカード)です。コピーをして家族みんなで財布に入れておいてください。助けを求めるときに役に立ちます。

緊急連絡カード		大切な証明書の情報(パスポート、在留カード、保険証等):	
名前:	国籍:		
住所:			
電話番号:		自分の国の大使館/総領事館の電話番号:	
いつも行っている病院:			
電話番号:			
血液型:	型 Rh ±	生年月日:	逃げる ところ:
アレルギー:	自分の 病気:	家族が 離れ離れに なったとき 集まる ところ:	電話番号:

折り



# Japan is vulnerable to natural disasters

Japan is a high disaster risk country where volcanic eruptions and earthquakes are frequent. It is also prone to other natural hazards such as tsunami, typhoons, heavy rain and snow.

Therefore it is important to be always prepared and know what to do when disaster strikes. It is also crucial to gather accurate and reliable information during emergencies.

## What is an Earthquake?

An earthquake is a sudden rapid movement of the ground. A magnitude scale describes the size and intensity of earthquakes. The scale ranges from 1 to 10. Higher numbers mean bigger and stronger earthquakes.

Aftershocks are sudden shaking of the ground that occur after a major earthquake. It is important to watch out for aftershocks because the shaking of the ground could be stronger than the major earthquake and may occur several times.



## What is a Tsunami?

A tsunami is a dangerous ocean wave triggered by an earthquake. When a large earthquake occurs, numerous big ocean waves come to the land which could severely damage infrastructures such as buildings.

Japan is prone to tsunamis because it is surrounded by bodies of water. Approximately 18,500 people have either died or went missing when the Great East Japan Earthquake occurred on March 11, 2011.



# What to Do in an Earthquake

A split-second decision during an earthquake can be a difference between life and death. Knowing what to do and how to respond during an emergency situation would help you to act calmly and save your life.

## During an earthquake

**Earthquake!**

### First, ensure your physical safety

- Secure your physical safety once the Earthquake Early Warning has been issued or when you feel a strong shaking of the ground.
- Seek shelter under a sturdy table or a place where objects will not fall down, topple over, or slide.

**If you are on 10th floor or higher**

- Shaking may last for a long time.
- Large objects like furniture may fall down, topple over or move large distances when the shakings are big and slow.



## Immediate actions after an earthquake

### Check fire sources and extinguish fires

- When shakings have subsided, calmly turn off any sources of fire and heat.
- Put out small fires. In case of big fires or you cannot extinguish it yourself, call 119 (Fire Department) for help.



### Act calmly

- If you are indoors, wear shoes or slippers to protect your feet from hazardous objects such as glass shards. Also watch out for toppled or fallen furniture and other broken objects.
- Do not rush outside. Debris such as broken windows and signs may fall on you.



### Secure an exit

- When you feel safe and the shakings have subsided, create an exit by opening doors or windows.



### Stay out of danger zones

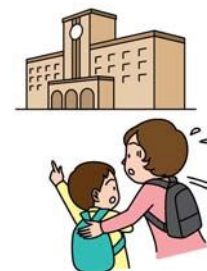
- If you are outdoors, do not go near objects or places that may fall over, crumble, or collapse such as power lines, signs, vending machines, and bridges.



## When the ground stops shaking

### Evacuate as necessary

- Evacuate to a safe place such as shelter if there is a danger of house or building collapse, or a large fire has broken out nearby.
- Evacuate to a safer place if there is a danger of tsunami or landslides.



### Gather accurate information

- Announcements from radio, TV, city hall, fire department, and police department are examples of reliable sources of information.
- Watch out for widespread misleading pictures or videos and fake news during emergencies such as earthquakes, tsunami, and floods.



### Check for safety before evacuating

- As a fire prevention measure, turn off circuit breakers and gas shutoff valve if it is safe to do so.





# Prepare for Earthquakes

## Make Your Home Earthquake Safe

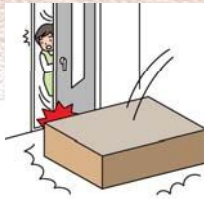
### Place furniture in safe locations

- Try to concentrate your furniture such as cabinets and shelves in rooms where people do not frequent.
- Secure and move cabinets and shelves away from places where people sleep so it will not fall on anyone.



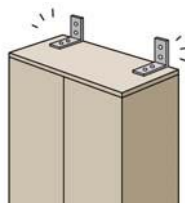
### Secure an Exit

- Plan an emergency escape route.
- Do not place objects near walkways and doors that may hinder your escape.



### Secure your furniture

- Do not leave spaces between furniture and walls or pillars.
- Anchor large furniture to the wall with tools such as L-shaped metal brackets and use anti-slip pads to keep it in place.



### Apply security film on glass surfaces such as windows to prevent it from shattering

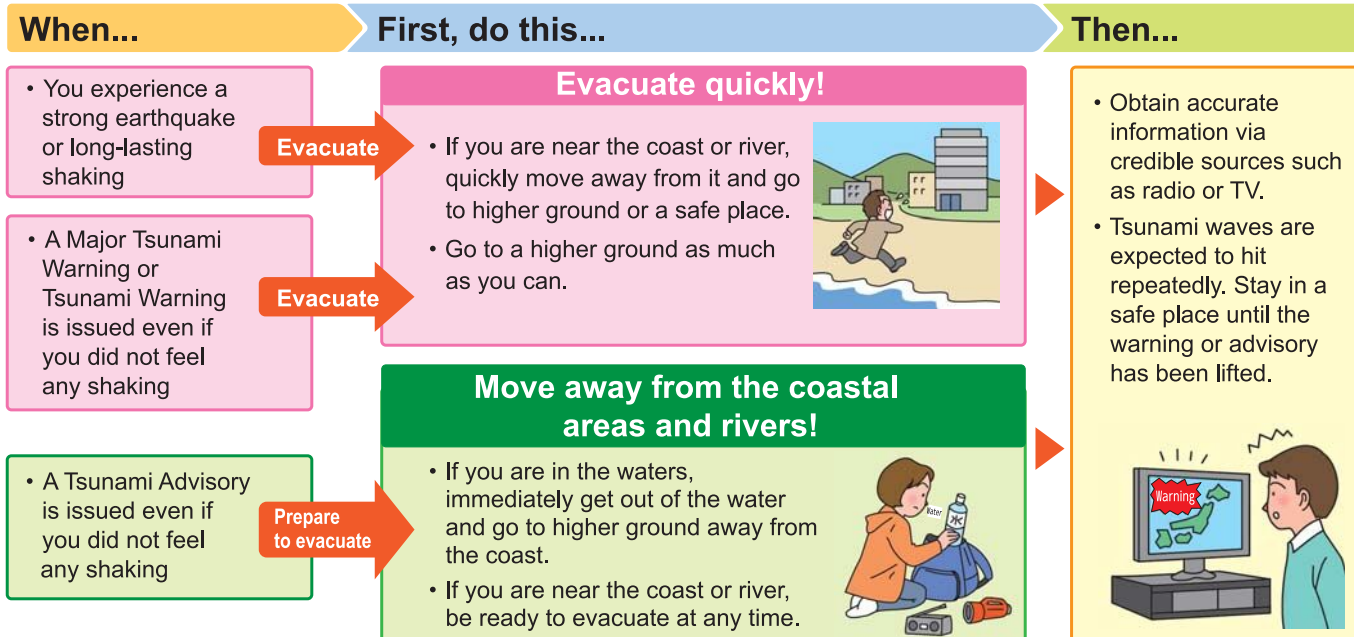
- Install shatterproof film to glass cupboard shelves and glass picture frames.



# What to Do in a Tsunami

The only thing you can do to save yourself from a large tsunami is to evacuate to a higher ground as much as you can. It is important to ensure your own safety at all times. If you are in tsunami risk area, please develop the habit of quickly going to a safe place as soon as you feel a strong shake.

## How to Survive a Tsunami



Know these tsunami evacuation signs!



**Tsunami Evacuation Site**  
A safe zone in a high ground such as mountains and hills that are higher than its surrounding areas.



**Tsunami Evacuation Building**  
A temporary shelter building that is higher than the areas around it.

# Typhoons and Heavy Rain

A typhoon brings heavy rainfall and strong winds. It usually occur from July to October in Japan. Other natural disasters such as landslides and flooding may occur due to severe weather condition.

Landslide is a result of the sudden mass movement of rock or soil down a slope, while flooding occurs when river overflows onto the land due to heavy rain.

Strong winds may send objects flying which could lead to serious injuries. If you are near the coast, watch out for storm surge and tidal waves. Quickly move away from the shore. Always exercise caution regardless whether the sudden heavy rain is typhoon or not.

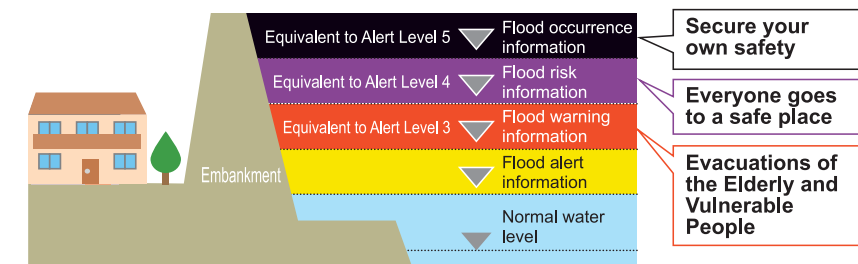


# What to Do During Typhoon or Heavy Rain

Japan generally experience heavy rains and 50% of its population live in flood risk areas. Protect your family and valuables by making a daily habit to be prepared for storms and floods.

## Flooding information: River Water Level and Inundation

Once the city or town issues an alert level, it means there is a high risk of embankment collapse or inundation (flooding). Thus, it is recommended to evacuate immediately.



## Evacuation Information

Evacuation Information is issued on the municipal level when there is an immediate danger to life during state of emergencies such typhoons and heavy rain. Evacuation instructions vary depending on the level of danger. Evacuate as needed or when you no longer feel safe. Please see the official website of Oita City for more information.

<p>Danger level</p> <p>High</p> <p>Low</p>	<p><b>Alert Level 5</b> Emergency safety measures</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Life-threatening situation. Urgently seek safety by immediately moving to even slightly higher ground, such as a higher floor or a higher-level building nearby.</li> </ul>
	<p><b>Alert Level 4</b> Evacuation instruction</p> <p>(Be sure evacuate by Alert Level 4!)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• All residents should evacuate from affected areas and seek a safe place.</li> </ul>
	<p><b>Alert Level 3</b> Evacuations of the elderly, etc.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Those who may need more time to evacuate or need help evacuating should evacuate from affected areas.</li> <li>• Everyone else should assess their own need and prepare for evacuation or consider voluntary evacuation.</li> </ul>



## Evacuate in a way that saves lives!

In situations where going outside would actually increase the risk of life-threatening injury, evacuate to the second floor of the house or a room far away from any cliffs or precipices!

## Evacuate if you see any of the following signs!

- If the sky is completely black with thunder and lightning, evacuate into a building.
- Watch out for strong cool winds. This is a sign that a storm is coming,
- If the volume of water in a river increases or becomes cloudy, evacuate immediately.
- If heavy rain or hail begins to fall, seek shelter indoors.





## Emergency and Stockpile Supplies

Check the box with a check mark (☑) if you have it ready.

<input type="checkbox"/>  Water 3 liters per person	<input type="checkbox"/>  Food (e.g. hardtack, canned foods, chocolate)	<input type="checkbox"/>  Portable radio	<input type="checkbox"/>  Socks and underwear	<input type="checkbox"/>  Towels
<input type="checkbox"/>  Formula	<input type="checkbox"/>  Diapers	<input type="checkbox"/>  Bottles	<input type="checkbox"/>  Lighter or matches	<input type="checkbox"/>  Toothbrushes
<input type="checkbox"/>  Gloves	<input type="checkbox"/>  Sanitary products	<input type="checkbox"/>  Cash Include coins for payphone	<input type="checkbox"/>  Portable flashlight	<input type="checkbox"/>  Rain gear (e.g. raincoat, umbrella)
<input type="checkbox"/>  Passport	<input type="checkbox"/>  Mobile phone and battery	<input type="checkbox"/>  Face masks	<input type="checkbox"/>  Bank book, hanko (personal seal)	<input type="checkbox"/>  Residence card
<input type="checkbox"/>  Insurance card	<input type="checkbox"/>  First aid kit Include pain and fever medications	<input type="checkbox"/>  Medications Prescription drugs and other medications you usually use.	<input type="checkbox"/>  Plastic bags	<input type="checkbox"/>  Emergency contact list and writing tools
<input type="checkbox"/>  Other (write anything else you would need)				

### What is an Evacuation Shelter?

An evacuation shelter is a facility where people can stay temporarily because their house is no longer a safe place to live in or have been damaged. Anyone can use these facilities for free whether they are Japanese citizens or not. See pages 25 to 30 to find the designated evacuation shelters near you.



## Emergency Hotlines

Police  
Dial **110**

Fire or Ambulance  
Dial **119**

Marine Emergencies  
Dial **118**

◎Oita City's multilingual interpretation service for emergencies

Oita City Multilingual  
Disaster Distress Call Center

**0120-691-476**

*Only available when Oita City Disaster Alert and/or Disaster Response Headquarters are established.

**Availability** : 24 hours a day from the establishment of the Oita City Disaster Alert and/or Disaster Response Headquarters until one month after its disbandment

**For** : Anyone in Oita City

**Service Fee** : Free

**Note** : Visit the official website of Oita City to check if the Disaster Alert and/or Disaster Response Headquarters have been established.

Available languages as April 1, 2022

- English
- Mandarin
- Korean
- Thai
- Vietnamese
- Indonesian
- Malay
- Nepali
- Portuguese
- Spanish
- French
- German
- Italian
- Russian
- Tagalog
- Burmese
- Khmer
- Mongolian
- Sinhala
- Hindi
- Bengali

## How to Use the Disaster Emergency Message Services

It may be difficult to contact someone by phone during emergencies. At times like this, use the emergency message services to inform family and friends that you are safe or to check the safety status of others.

• Disaster Emergency Message Dial (171)

Dial **1 7 1**

Record  
a message **1**

Play  
a message **2**

Input the phone number of someone in  
the disaster-affected area

Record  
your message  
(30 seconds or less) **1**

Play  
a message **1**

• Disaster Emergency Message Board (Online)

Access the disaster emergency message board  
from the official website or the dedicated app

Post a message

Check a message

Select Post

Select Read

Type a short message  
within 100 characters  
or less.

Enter the phone number of the  
person you want to check  
on and read their message

## Multilingual Resources

Japan Meteorological  
Agency (JMA) Website

You can view multilingual information on weather-related disaster as well as publications on earthquakes, tsunamis, typhoons, and other natural disasters released by the JMA.



Safety tips App

Japan Tourism Agency's  
Emergency Information App

This multilingual app sends alerts and notifications issued in Japan in times of emergencies or disasters such as earthquakes and typhoons.



Android

iOS

Make a copy of this emergency contact card for each family member. Fill out the card with their information. Have each member keep their card in their wallet or other item they always carry.

### Emergency Contact Card/緊急連絡カード

Name (氏名):	Nationality (国籍):	Important document information (passport, residence card, insurance card, etc.) 大切な証明書の情報(パスポート、在留カード、保険証等):
Address (住所):		
Phone No. (電話番号):		
Family doctor (かかりつけ医): Tel:		My country's Embassy or Consulate in Japan (母国の大使館/総領事館の連絡先):
Blood type (血液型): Type Rh± Birthdate (生年月日):		Evacuation area (避難場所):
Allergies (アレルギー):	Chronic diseases (持病):	If I get separated from my family, we will meet at (家族が離散した時の集合場所):
		Tel:

Fold here



# 日本是灾害多发的国家

日本是多火山，频繁发生地震的国家，容易发生海啸、台风、大雨、大雪等灾害。

因此，平时就有必要了解危险时刻所应采取的行动。在发生灾难的时候收集准确的信息也是必要的。

## 地震是什么？

地震是指地面摇晃。

震度表示地震的强度。一共10个等级，数字越大摇晃得越厉害。

大地震（本震）之后会多次摇晃，这叫做「余震」。

比本震的摇晃还要大，有时会摇晃多次，因此要注意。



## 海啸是什么？

海啸是地震时引发的危险波浪。

大地震的时候，涌来了很多大型海浪，建筑物等受到了非常严重的损害。

日本的四周被海洋包围所以很容易发生海啸。

2011年3月11日发生的东日本大地震，其间约有18,500人死亡或行踪不明。



## 发生地震时，应该怎么办？

当大型地震发生时，一般人都很难冷静地应对。然而，往往正是这一瞬间的判断决定了生死。遇到紧急情况时，为了能做到“冷静应对，沉着行动”，请切记以下求生方式方法。

### 发生地震时的行动

#### 发生地震!! 首先要保护好自己的生命

- 收到紧急地震快讯，或是感到巨大晃动时，应优先考虑生命安全。
- 迅速转移至坚固的桌体下，或是不易遭受坠物、倒塌物、移动物体伤害的空间，随后时刻观察周围情况直至晃动停止。
- 【身处高层（泛指10层及以上楼层）时需注意的点】**
- 身处高层时，因地震产生的晃动可能会持续数分钟。
- 大而缓的晃动可能会使家具倒下、掉落或大幅度移动，对人身安全造成威胁。



### “地震发生后”需立即采取的行动

#### 确认火源、进行初期灭火

- 在使用火的时候，请不要慌张，等到晃动停止后再关火。
- 若起火，应该灭火。但是不要勉强，请尽快拨打119向消防部门救援或向周围的人救援。



#### 慌乱行动反将导致受伤

- 身处室内时，应注意倒下及落下的家具、碎玻璃等，并穿上鞋子。
- 不应直接跳离至室外，否则可能会被下落的瓦片、窗户玻璃、广告板等砸伤。



#### 确保有逃生出口

- 确认晃动停止后，应打开门、窗，根据需要确保避难时有可使用的逃生出口。



#### 远离危险区域

- 当身处室外感到巨大晃动时，应远离石墙、电线杆、广告板、自动贩卖机、桥梁等可能倒塌的物体。



### “晃动停止后”采取的行动

#### 根据具体情况进行避难

- 自家房屋可能倒塌，或是附近可能发生大型火灾时，应前往避难所避难。
- 可能遭遇海啸或泥石流滑坡等灾害时，应根据具体情况前往安全的场所避难。



#### 收集正确的信息

- 应通过电视广播、行政、消防、警察等可信度高的途径收集信息。
- 灾害发生时，切勿轻信谣言。



#### 避难前需进行的安全确认

- 为避免火灾等二次灾害的发生，当需要避难时，应在避难前尽量关闭电闸及煤气开关。





# 请为地震做好准备

## 请选择安全的居住地

### 请注意家具的摆放位置

- 请尽量把衣柜和架子放在人流进出少的房间里。
- 在人睡觉的房间里，放置衣柜和架子的时候，请固定好不要倾倒在人的身体上。



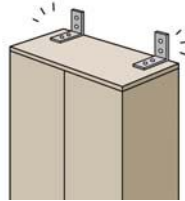
### 避难通道及出入口处不要放置杂物

- 为了危险的时候逃生，请准备好避难逃生的道路。
- 请不要在通道和出入口处放置东西。



### 防止家具倒下或坠落的措施

- 请不要在衣柜、架子和墙壁、柱子之间留出空隙。
- 为了防止衣柜和架子倒下，请使用固定用金属零件固定好(防止衣柜和架子移动的工具)。



### 在窗户玻璃上铺设防飞散膜

- 除窗户以外，还需注意餐具柜及画框上的玻璃。



# 发生海啸时，应该怎么办？

面对来势凶猛的海啸时，唯有及时避难至海啸无法达到的高处才能保住性命。请切记只有自己才能拯救自己的生命。在身处可能发生海啸灾害的环境中时，应在心中谨记“感受到巨大晃动后立即避难”。

## 海啸中挽救生命的应对方法

遇到这种情况时 → 应首先采取这样的行动 → 随后……

<p>• 感觉到强烈地震和长时间的晃动</p> <p>→ 避难</p>	<p><b>立即避难!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 身处沿岸区域或靠近河川时，应立即转移至高地等安全场所避难。</li> <li>• 不可小视海啸的威力，应朝着地势更高的场所转移避难。</li> </ul>		<p>• 通过收音机、电视获取正确的信息。</p> <p>• 海啸将反复来袭，因此直到警报解除为止，切勿接近海岸。</p>
<p>• 发布了大海啸警报·海啸警报 (不管有没有晃动)</p> <p>→ 避难</p>	<p><b>远离海岸!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 身处海中时，应立即上岸并远离海岸。</li> <li>• 身处沿岸区域时，应时刻做好避难准备。</li> </ul>		
<p>• 发布了海啸注意信息 (不管有没有晃动)</p> <p>→ 准备避难</p>	<p><b>准备避难</b></p>		

请记住有关海啸避难的标志!



### 海啸避难场所

逃离海啸，转移到周围更高的地势和山坡上。



### 海啸避难高层建筑

逃离海啸，转移到周围更高的高层建筑上。

# 台风·暴雨

台风发生在每年的7月到10月左右。会引起大雨和强风。有时也会发生泥石流(斜坡上的泥土和沙子突然崩塌掉下来)和洪水(大雨等导致河流水位上涨，河水泛滥流入陆地)。

此外，也有物品被强风吹飞而导致受伤的情况。

海边需要注意风暴潮。请不要靠近大海。

即使没有刮台风，也要注意突来的暴雨。



# 遭遇台风及暴雨时，应该怎么办？

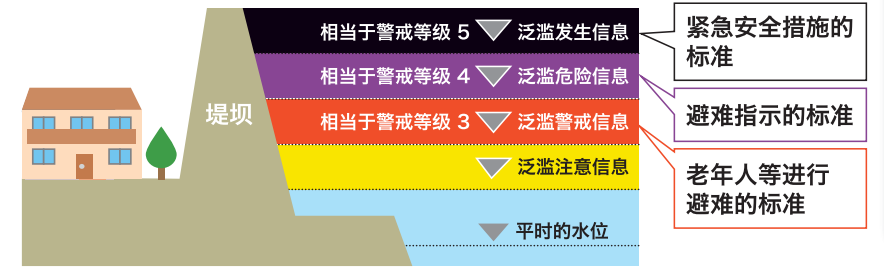
在日本，因为梅雨前线、秋雨前线的活动及台风的影响，全国各地都可能发生暴雨。此外，日本约有50%的人口居住在洪水泛滥的区域。为了在台风暴雨来袭之时保全财产和性命，应在平时就做好相应的应对措施及准备。

## 洪水，河流水位，泛滥相关信息

当收到“避难指示”时，所有人应立即避难。

当收到“老年人等避难指示”时，以下人群请立即采取避难行动。

- 老年人
- 残疾人士
- 儿童
- 孕妇



## 避难相关信息

当灾害逼近，需要居民避难时，政府将发布避难的相关信息。有关开设避难所的相关信息，可随时在大分市主页上进行确认。根据情况严重性的不同，政府将发布避难信息，请各位居民根据各类信息采取相应的避难行动。有关避难的情报，请查看大分市政府官网。

紧急度 ↑ 高	<p><b>警戒等级5 紧急安全措施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 因为有生命危险，所以要立即转移到自己家的楼上，附近的高层建筑物等相对地势更高的地方，采取紧急安全措施。</li> </ul>
	<p>~~~~~ &lt;请务必在达到警戒等级4之前进行避难!&gt; ~~~~~</p> <p><b>警戒等级4 避难指示</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 全员撤离危险场所转移至安全场所。</li> </ul>
	<p><b>警戒等级3 老年人等进行避难</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 避难需要时间的人以及帮助避难的人撤离危险场所。</li> <li>• 除此之外的其他人也应该调整自身行为，做好避难准备，主动撤离危险场所。</li> </ul>
↓ 低	



### 采取措施保护好自己生命安全!

当外出反而会对生命安全产生威胁时，请向自家2楼或远离屋檐的房间移动!

## 确认到这种前兆，请立即开始避难!

- 当观察到天空一片漆黑，雷鸣闪电出现时，应立即避难至建筑物内。
- 当冷风吹来时需保持警惕。
- 当河水水位上涨或开始变得浑浊时，应立即避难。
- 当大颗粒雨水或冰雹降下时，应立即避难至建筑物内。





## 紧急携带品·储备品

### 检查准备好的东西(☑)。

 <input type="checkbox"/> 水 (1个人3升)	 <input type="checkbox"/> 食物 (饼干, 罐头, 巧克力等)	 <input type="checkbox"/> 便携式收音机 (可以携带走的收音机)	 <input type="checkbox"/> 内衣, 袜子	 <input type="checkbox"/> 毛巾
<b>有婴儿的人</b>		 <input type="checkbox"/> 打火机(火柴)	 <input type="checkbox"/> 牙刷	 <input type="checkbox"/> 手套
 <input type="checkbox"/> 奶粉	 <input type="checkbox"/> 尿布	 <input type="checkbox"/> 奶瓶	 <input type="checkbox"/> 雨具 (雨衣, 雨伞等)	 <input type="checkbox"/> 护照
 <input type="checkbox"/> 生理用品	 <input type="checkbox"/> 现金 (硬币可以用来打公用电话)	 <input type="checkbox"/> 手电筒 (手提灯)	 <input type="checkbox"/> 存折, 印章	 <input type="checkbox"/> 居留卡
 <input type="checkbox"/> 手机和充电电池	 <input type="checkbox"/> 口罩	 <input type="checkbox"/> 保险证	 <input type="checkbox"/> 急救套装 (受伤时退烧时使用的药)	 <input type="checkbox"/> 常备药 (经常服用的药)
 <input type="checkbox"/> 塑料袋	 <input type="checkbox"/> 家人和朋友等 联系方式记录 (笔记本, 笔)	<input type="checkbox"/> 其他 (写下自己所需要的其他东西)		

### 避难所〈避难逃生的地方〉

避难所是「收容因受(地震、海啸、洪水等)灾害无法住在自己家里, 以及有可能受灾人群的场所」, 外国人和日本人都可以使用。请在第25页到第30页中确认自己的避难所〈避难逃生的地方〉的位置。避难所不需要支付费用。



## 紧急情况联络处

警察局

**110番**

火灾·急救

**119番**

海上事故及事件

**118番**

◎大分市灾害时多语言翻译服务

大分市灾害时多语言  
呼叫中心

**0120-691-476**

※请注意, 没有发生灾害时电话无法接通

对应时间: 从大分市灾害警戒本部或灾害对策本部成立后~各本部解散后一个月。24小时对应。

对应语言: 21种语言(英语, 中国语(北京话), 韩语, 泰语, 越南语, 印度尼西亚语, 马来西亚语, 尼泊尔语, 葡萄牙语, 西班牙语, 法语, 德语, 意大利语, 俄语, 塔加罗格语, 缅甸语, 高棉语, 蒙古语, 辛哈拉语, 印地语, 孟加拉语(2022年4月1日))

利用对象: 大分市民、在市内逗留的访日游客等。

利用费: 利用者不用负担, 为免费电话。

注意事项: 大分市灾害警戒本部及大分市灾害对策本部的设置情况, 通过大分市主页随时可以确认。

### 灾害用留言服务的使用方法

灾害发生后, 电话将很难接通。此时, 若需要向家人朋友报平安或确认家人朋友安全与否时, 可灵活使用灾害热线。

·灾害用留言服务的使用方法(171)

·灾害用留言板(手机·智能手机)

拨打 **1 7 1**

从官方网站或专用APP访问  
“灾难留言板”

录音 **1**

播放 **2**

“登录”留言的时候

“确认”留言的时候

输入在受灾地区的人的电话号码

选择“登录”

选择“确认”

录音留言  
(30秒以内) **1**

留言的播放 **1**

输入100字以内的  
留言后进行登录

输入对方的手机号  
码来进行搜索

### 能够用多种语言收集信息的网址

日本气象局  
(网站)

日本气象局(通知有关天气方面的信息的国家机关), 使用多种语言通知防灾气象信息(预防地震和台风的通告)。



安全小贴士

这是一款应用程序, 可以用多种语言了解, 由观光厅制作在日本境内发生的台风、地震等通知和灾害时所必需的信息。



Android

iOS

现金卡大小的紧急联络卡。家庭成员将各自的联系方式记录在上, 保证每人持有一张, 将其装入钱包等随身携带。这张卡会在需要求助时起到作用。

### 紧急联络卡/紧急連絡カード

姓名(氏名):	国籍(国籍):	重要的证明书的信息(护照, 居留卡, 保险证 etc.) 大切な証明書の情報(パスポート、在留カード、保険証等):
地址(住所):		
电话号码(Tel):		
家庭医生(かかりつけ医):		本国大使馆·总领事馆的联络方法 (母国の大使馆/総領事館の連絡先):
电话号码(Tel):		
血型(血液型):	型 Rh± 出生年月日(生年月日):	避难场所(避難場所):
过敏(アレルギー):	慢性疾病等(持病):	家人失散后的集合地点(家族が離散した時の集場所):
		电话号码(Tel):

在此折叠



# 일본은 재해가 많은 나라입니다

일본은 화산이 많고 지진이 매우 자주 일어나는 나라입니다.

쓰나미와 태풍, 호우, 폭설 등 재해가 발생하기 쉽습니다.

따라서 위험할 때 어떻게 행동할지 평소에 알아 두어야 합니다.

재해 시에는 올바른 정보를 수집할 필요가 있습니다.

## 지진이란

지진은 지면이 흔들리는 현상입니다. 진도는 지진의 세기를 나타냅니다. 총 10단계로 나뉩니다. 수치가 크면 흔들림도 강합니다.

그리고 큰 지진(본진) 후 흔들림은 여러 차례 발생합니다.

이를 '여진'이라고 합니다.

본진의 흔들림보다 더 크거나 여러 차례 이어질 때가 있으므로 주의합니다.



## 쓰나미란

쓰나미는 지진 때 발생하는 위험한 파도입니다.

큰 지진 때 높은 파도가 밀려와 건물 등에 매우 심각한 피해를 줍니다.

일본은 주위에 바다가 있으므로 쓰나미가 일어나기 쉽습니다.

2011년 3월 11일에 동일본대지진이 일어났을 때는 약 18,500명이 희생되거나 실종됐습니다.



# 지진이 발생하면 어떻게 하지?

큰 지진이 발생했을 때 침착하게 대응하기란 결코 쉬운 일은 아닙니다. 그러나 한순간의 판단이 생사를 가를 수도 있습니다. 만일의 경우에도 "당황하지 말고 침착하게" 행동하기 위해 행동 패턴을 기억해 둡시다.

## "지진 발생 시"의 행동

### 지진 발생! 우선은 몸의 안전을 확보한다

- 긴급지진속보나 큰 흔들림이 있을 때는 우선 신변 안전을 최우선으로 행동한다.
- 튼튼한 테이블 밑이나 물건이 "떨어지지 않는", "넘어지지 않는", "이동해 오지 않는" 공간으로 피신하고 흔들림이 가라앉을 때까지 상황을 주시한다.

#### [고층(대략 10층 이상)에서의 주의점]

- 고층에서는 진동이 몇 분 동안 계속되는 경우가 있다.
- 크고 느린 진동으로 인해 가구류가 넘어지거나 떨어지고, 심하게 움직일 위험이 있다.



## "지진 직후"의 행동

### 불 확인과 초기 소화

- 불을 사용하고 있을 때는 진동이 가라앉은 후 침착하게 불을 끈다.
- 화재가 발생하면 소화한다. 단, 무리하지는 말고 119번에 신고하거나 주위에 도움을 청한다.



### 허둥대는 행동은 부상의 원인

- 실내에서는 넘어지거나 떨어진 가구류, 깨진 유리 파편 등에 주의하고 신발을 신는다.
- 기와, 창문유리, 간판 등이 떨어질 위험이 있으므로 밖으로 뛰어나가지 않는다.



### 출구를 확보한다

- 흔들림이 가라앉은 것을 확인한 후 문이나 창문을 열어서 필요하면 피난할 수 있도록 출구를 확보한다.



### 위험한 장소에 접근하지 않는다

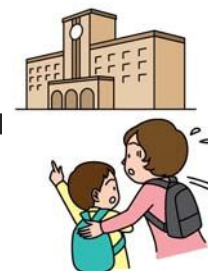
- 옥외에서 큰 진동을 느끼면 파손될 우려가 있는 블록담, 전신주, 간판, 자동판매기, 다리 등에는 접근하지 않는다.



## "흔들림이 가라앉은 후"의 행동

### 상황에 따른 피난

- 가옥 붕괴 우려가 있거나 인근에 큰 화재가 발생했을 때는 피난소 등으로 피난한다.
- 쓰나미나 토사재해의 우려가 있을 경우는 상황에 따라 더 안전한 장소로 피난한다. 청한다.



### 올바른 정보를 모은다

- 라디오나 텔레비전, 행정, 소방, 경찰 등 신뢰할 수 있는 기관에서 발표되는 정보를 모은다.
- 재해 시 늘어나는 유언비어 등에 현혹되지 않도록 올바른 정보를 모은다.



### 피난하기 전에 안전 확인

- 피난이 필요해진 경우에는 화재 등의 2차 재해를 막기 위해 가급적 전기 브레이커를 내린 후 가스 밸브를 잠그고 피난한다.





# 지진에 대비합시다

## 각자의 집을 안전하게 만듭시다

### 가구를 안전하게 배치한다

- 빈도가 낮은 방에 옷장이나 수납장을 배치해 주십시오.
- 침실에 옷장이나 수납장을 둘 때는 전복되지 않도록 유의해 주십시오.



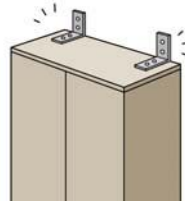
### 통로나 출입구에 물건을 두지 않는다

- 위험한 상황에 대비해 대피로를 만들어 주십시오.
- 통로나 출입구에 물건을 두지 마십시오.



### 가구 넘어짐이나 낙하를 방지하는 조치를 취한다

- 옷장이나 수납장과 벽이나 기둥 사이에 틈을 만들지 마십시오.
- 옷장이나 수납장이 쓰러지지 않도록 고정 장치(옷장이나 수납장이 움직이지 않도록 하는 도구)를 사용해 주십시오.



### 유리창에 비산 방지 필름을 붙인다

- 창문은 물론 찬장이나 액자 등에 사용되는 유리에도 잊지 말고 비산 방지 필름을 붙인다.



# 쓰나미가 발생하면 어떻게 하지?

밀려오는 쓰나미로부터 목숨을 지키기 위해서는 쓰나미가 도달하지 않는 높은 장소로 피난하는 수밖에 없습니다. 자신의 목숨은 자신이 지킨다는 것을 강하게 의식해 주십시오. 쓰나미의 위험이 있는 장소에서는 "큰 진동을 느끼면 즉시 피난한다". 이것을 명심해 둡시다.

## 쓰나미로부터 생명을 지키는 대응 차트

이런 때에는	우선 이런 행동을	그 다음은 ...
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 강한 지진이나 장시간의 흔들림을 느꼈다</li> <li>• 대형쓰나미·쓰나미 경보가 발표되었다 (진동을 느끼지 못하더라도)</li> </ul>	<p><b>즉시 피난한다!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 해안 근처나 강 근처에 있는 사람은 즉시 멀리 떨어져 고지대 등 안전한 장소로 피난한다.</li> <li>• 여기라면 괜찮겠지라고 생각하지 말고 더 높은 장소로 향해 피난한다.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 올바른 정보를 라디오·텔레비전 등을 통해 입수한다</li> <li>• 쓰나미는 반복해서 밀려오므로 경보·주의보가 해제될 때까지는 절대로 해안에 접근하지 않는다</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 쓰나미 주의보가 발표되었다 (진동을 느끼지 못하더라도)</li> </ul>	<p><b>즉시 피난한다!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 바다에 있는 사람은 즉시 바다에서 나와 해안에서 멀리 떨어진다.</li> <li>• 바다 근처에 있는 사람들은 언제든지 피난할 수 있도록 준비한다.</li> </ul>	

쓰나미 대피에 관한 표식을 기억해 둡시다!



**쓰나미 대피 장소**  
쓰나미로부터 피신하는 장소입니다. 주변보다 높은 산과 언덕입니다.



**쓰나미 대피 건물**  
쓰나미로부터 피신하는 장소입니다. 주변보다 높은 건물입니다.

# 태풍·호우

태풍은 7월부터 10월쯤에 발생합니다. 강한 비바람을 동반합니다. 토사 붕괴(경사지에 있는 흙과 모래가 갑자기 무너져 내리는 현상)나 홍수(호우 등으로 강물이 불어나 땅으로 넘쳐흐르는 현상)나 발생하기도 합니다.



그리고 바람에 날려 온 물건에 맞아 다칠 수도 있습니다. 바다 부근에서는 해일에도 주의해야 합니다. 바다에 접근하지 마십시오. 태풍이 발생하지 않아도 갑작스러운 호우에 유의해 주십시오.

# 태풍이나 호우가 발생하면 어떻게 하지?

일본은 초여름의 장마전선과 가을철 장마전선의 활동, 태풍의 영향 등으로 전국 각지에서 호우가 발생합니다. 또한 일본은 전 인구의 약 50%가 홍수범람지역에 살고 있습니다. 풍수해로부터 소중한 가족과 재산을 지키기 위해 평소부터 확실하게 대책을 세워 풍수해에 대비합시다.

## 홍수, 강의 수위와 범람에 관한 정보

"대피 지시"를 받으면 모두 즉시 대피해야 합니다. 다음과 같은 분들은 "고령자 등의 대피 지시"를 받으면 신속히 안전한 장소로 대피해 주십시오.

- 노인
- 장애인
- 어린이
- 임산부



## 피난에 관한 정보

재해의 위험이 닥쳐와 거주자의 피난이 필요한 경우에는 피난에 관한 정보가 발령됩니다. 피난소 개설에 관한 정보는 수시로 오이타시 홈페이지에서 확인해 주십시오. 피난에 관한 정보는 상황의 심각성에 따라 각각 발령되며, 주민 여러분은 각 정보에 따른 피난행동을 취하셔야 합니다. 피난 정보는 오이타시 홈페이지에서 확인하십시오.

위험도	경계 레벨 5	긴급 안전 확보
높음	• 생명의 위험이 있으므로 즉시 자택 위층, 인근의 높은 건물 등 되도록 높은 장소로 이동해 긴급히 안전을 확보하도록 합니다.	
	~~~~~ <경계 레벨4까지 반드시 대피!> ~~~~~	
	경계 레벨 4	대피 지시
	• 위험한 장소에서 안전한 장소로 전원 대피합니다.	
	경계 레벨 3	고령자 등의 대피
낮음	• 대피에 시간이 소요되는 사람과 지원하는 사람은 위험한 장소에서 대피합니다.	
	• 그 밖의 사람도 필요에 따라 대피를 준비하거나 자발적으로 대피합니다.	



생명을 지키는 피난 행동을!
밖으로 나가면 오히려 더 생명이 위험할 경우에는 자택 2층이나 베틀에서 떨어진 방으로 이동합니다!

이런 징조가 확인되면 피난하자!

- 하늘이 검어지고, 천둥과 번개가 발생하면 건물 안으로 피난한다
- 차가운 바람이 불기 시작하면 주의한다
- 강물이 불어나거나 탁해지면 즉시 피난한다
- 굵은 비나 우박이 내리면 건물 안으로 피난한다



비상반출품·비축품

준비한 물품에 표시(☑)합니다.

 <input type="checkbox"/> 물 (1인 3ℓ)	 <input type="checkbox"/> 식품 (건빵, 통조림, 초콜릿 등)	 <input type="checkbox"/> 휴대용 라디오 <들고 다닐 수 있는 라디오>	 <input type="checkbox"/> 속옷, 양말	 <input type="checkbox"/> 수건
유아 동반자  <input type="checkbox"/> 분유 <input type="checkbox"/> 기저귀 <input type="checkbox"/> 젖병	 <input type="checkbox"/> ライター(성냥)	 <input type="checkbox"/> 칫솔	 <input type="checkbox"/> 장갑	
 <input type="checkbox"/> 생리용품	 <input type="checkbox"/> 돈 (동전은 공중전화에 사용할 수 있습니다)	 <input type="checkbox"/> 손전등 <휴대용 전등>	 <input type="checkbox"/> 우비 (레인코트, 우산 등)	 <input type="checkbox"/> 여권
 <input type="checkbox"/> 휴대 전화 및 모바일 배터리	 <input type="checkbox"/> 마스크	 <input type="checkbox"/> 통장, 도장	 <input type="checkbox"/> 재류 카드	 <input type="checkbox"/> 보험증
 <input type="checkbox"/> 응급 세트 <다쳤을 때나 열을 낮출 때 사용할 약>	 <input type="checkbox"/> 상비약 <복용 중인 약>	 <input type="checkbox"/> 비닐봉지 (폴리에틸렌 봉지)	 <input type="checkbox"/> 가족이나 친구 등의 연락처 메모 (공책, 펜)	<input type="checkbox"/> 기타 (그 밖에 필요한 물품을 기재합니다)

피난소 (대피 장소)

피난소는 '재해(지진·쓰나미·홍수 등)로 인해 가족이 피해를 보거나 자택에 살 수 없게 된 사람과 피해를 볼 가능성이 있는 사람을 받아들이는 곳'이며, 국적과 관계없이 누구나 이용할 수 있습니다. 본인의 피난소(대피 장소)를 P25~30에서 확인해 주십시오. 피난소는 무료로 이용할 수 있습니다.



긴급 연락처

경찰은

110번

화재·구급은

119번

해상 사고·사건은

118번

○오이타시 재해 시 다국어 통역 서비스 안내

오이타시 재해 시
다국어 콜센터

0120-691-476

※재해 등이 발생하지 않은 평상 시에는 연결되지 않으므로
주의해 주십시오.

대응 시간: 오이타시 재해경계본부 또는 재해대책본부 설치 후~각 본부 해산 후 1개월 동안, 24시간 대응.
대응 언어: 21개 언어(영어, 중국어(베이징어), 한국어, 태국어, 베트남어, 인도네시아어, 말레이어, 네팔어, 포르투갈어, 스페인어, 프랑스어, 독일어, 이탈리아어, 러시아어, 타갈로그어, 미얀마어, 크메르어, 몽골어, 싱할라어, 힌디어, 벵골어 (2022년 4월 1일 현재))
이용자: 오이타시민, 시내에 체류 중인 방일 관광객 등.
이용료: 이용자 부담은 없습니다. 프리 다이얼로 이용할 수 있습니다.
주의점: 오이타시 재해경계본부 및 오이타시 재해대책본부 설치에 대해서는 오이타시 홈페이지에서 수시로 확인하실 수 있습니다.

재해용 전연 서비스 사용법

재해가 발생하면 전화가 잘 연결되지 않습니다. 가족이나 친구에게 자기가 무사하다는 것을 알리고 싶거나 가족이나 친구의 안부를 확인하고 싶을 때, 재해 다이얼을 활용합니다.

· 재해용 전연 다이얼(171)

1 7 1 을 누른다

녹음 1

재생 2

재해지 쪽의 전화번호를 입력

전연 녹음
(30초 이내) 1

전연 재생 1

· 재해용 전연판(휴대전화·스마트폰)

공식 사이트나 전용 앱에서
"재해용 전연판"으로 접속

전연을 "등록"할 경우

전연을 "확인"할 경우

"등록"을 선택

"확인"을 선택

100글자 이내의 메시지를
입력하고 등록

확인하고 싶은 사람의 휴대전화
번호를 입력하여 검색

다국어 정보 수집에 편리한 사이트

기상청(사이트)

기상청(날씨에 관해 알려 주는 국가 기관)이 방재기상정보(지진이나 태풍으로부터 몸을 보호하기 위한 안내)를 다국어로 제공합니다.



안전에 관한 주의 사항

관광청이 일본에서 일어나는 태풍이나 지진 등에 관한 소식이나 재해 시 필요한 정보를 다언어로 제공하는 앱입니다.



Android

iOS

현금카드 사이즈의 긴급 연락 카드입니다.
가족 인원 수만큼 복사하여 가족 모두가 각각 기입한 후 지갑 등에 넣어서 항상 가지고 다닙니다. 도움이 필요할 때 유용합니다.

긴급 연락 카드 / 緊急連絡カード

이름(氏名):	국적(国籍):	중요한 증명서 정보(여권, 체류카드, 보험증 등) 大切な証明書の情報(パスポート、在留カード、保険証等):
주소(住所):		
전화(Tel):		
주치의(かかりつけ医): 전화(Tel):		모국 대사관·총영사관의 연락처 (母国の大使館・総領事館の連絡先):
혈액형(血液型): 알레르기(アレルギー):	형(型) Rh ± 생년월일(生年月日): 지병 등(持病):	피난장소(避難場所): 가족이 뿔뿔이 흩어졌을 때 집합장소 (家族が離れ離れになったときの集合場所): 전화(Tel):